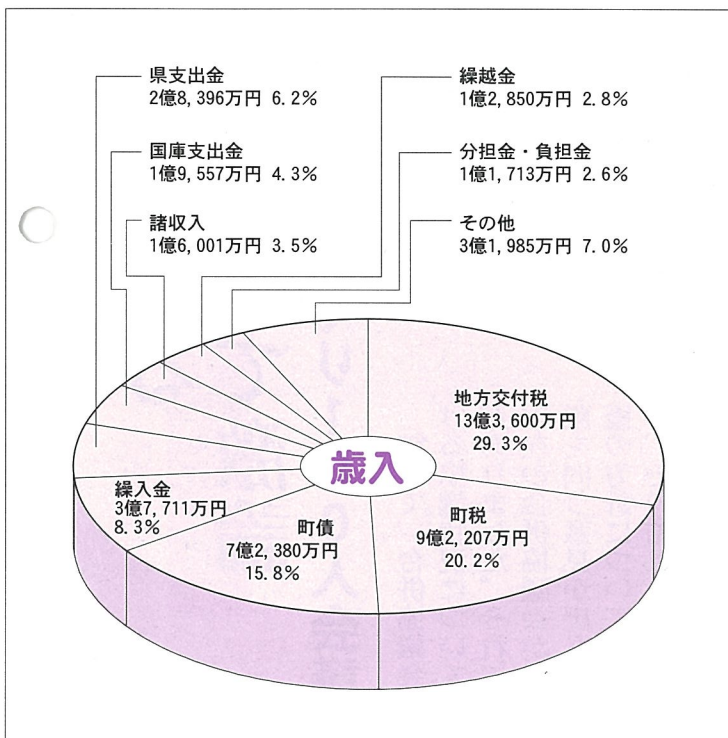


6,400万円

平成16年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。本年度の当初予算総額は、5会計で76億5,400万円となり前年度の当初予算と比べ6.3%、4億5,400万円の増となりました。予算額が増額となった主な要因は、一般会計で町制施行50周年事業の実施及びサッカー場等スポーツ施設の整備によるものです。



特別会計予算 (単位：千円・%)

会計別	予算額	対前年比
国民健康保険特別会計	1,199,000	1.6
老人保健特別会計	1,022,000	△ 0.2
介護保険特別会計	562,000	7.9
食肉センター特別会計	307,000	59.9
合計	3,090,000	5.9

一般会計

歳入

町税は、平成15年度の決算見込額と最近の景気動向に留意した結果、町税全体で9億2,207万円、前年度当初予算と比較すると3,555万円(3.7%)の減額となっています。減額の主な原因は、町民税個人分で景気低迷による給与所得の落ち込みや、農業所得なども減額見込みであることによるものです。

歳入の中で最も大きな割合を占める地方交付税は、国の地方交付税総額及び地方財政計画等を考慮し、交付額の減少が見込まれることから1億1,400万円(7.9%)の減額となっています。

町債は、平成7、8年度に借入した減税補てん債の元金を一括償還し、借換えをするため、2億7,870万円(62.6%)の増額となっています。

歳出

総務費は、町制施行50周年記念事業等による増額要因はあるものの、IT整備事業の終了及び市町村合併法定協議会負担金等の減により、706万円(1%)の減となっています。

民生費は、保育園施設整備補助による増額のほか、身体障害者居宅生活支援事業などにより、3,566万円(4.2%)の増額となっています。

教育費は、しおさい公園サッカー場整備及び海洋センターの改修工事等により、1億2,514万円(19.4%)の増額となっています。

衛生費は、東陽病院組合経営助成事業等の減額を主な要因とし4,167万円(6.6%)の減額となっています。

農林水産業費は、農免道路東陽地区負担金及び歩道整備事業の整備による増のほか、畜産振興総合対策事業等により、7,133万円(31.4%)の増額となっています。